

日経中国関連株 50、オークマ、ピジョンを採用

日本経済新聞社は、日経中国関連株 50 の定期見直しにより、構成銘柄のうちアサヒグループホールディングス(2502)、ブリヂストン(5108)を除外し、オークマ(6103)、ピジョン(7956)を採用する。また4銘柄について浮動株比率(IWF)を変更する。いずれの変更も10月31日の指数算出から実施する。新規採用銘柄と4銘柄の浮動株比率は下記の通り。

新規採用銘柄の IWF

銘柄	IWF
6103 オークマ	0.78
7956 ピジョン	0.83

4銘柄の IWF 変更

銘柄	旧 → 新
5020 JXTGホールディングス	0.60 → 0.91
6367 ダイキン工業	0.80 → 0.90
7203 トヨタ自動車	0.52 → 0.48
8058 三菱商事	0.71 → 0.82

日経中国関連株 50 は、中国関連度の高い 50 銘柄で構成する時価総額型の指数。2010年12月から指数値を日々公表している。日経紙面での中国関連記事の掲載度合いや有価証券報告書の開示内容をもとに、銘柄を選定している。